

平成 21 年 7 月 22 日

新鷹の台第一自治会

会員 各位

「21 年度 8 町内自治会合同ふるさと祭り」を終わって

実行委員長 竹田 功



今年の関東甲信地方は、平年より早く「梅雨」が明けて空模様には不安の無い『8 町内合同ふるさと祭り』を迎えることが出来ました。

子供たちの夏休みも昨年より一日早く始まり「ふるさと祭り」はそれに合せて 18 日・19 日と行いました。

19 日は強い南風のためテントが吹き飛ばされると言ったアクシデントが有りましたが、他の地域に先駆けての開催とあって来場者は昨年を上回り正確には把握できませんが 5.500 人から 6.000 人（前年比 120～125%）程度あったと思われます。この祭りを開催するには、「人」「天候」「資金」の 3 つの要素がかみ合わないと成功いたしません。今年は資金面でいささか苦労がありました。

祭りを開催するにあたっては、今年も 3 月の中旬まだサクラも咲かない内に 21 年度『8 町内自治会合同ふるさと祭り実行委員会』が立上げられ、実行委員長に追館自治会の大津明氏が就き、開催まで準備打合せ・会場の設営と会合や設営作業等の為に、大変多くの人々が知恵と労力を出し 8 町内自治会が協力しあって実施されました。

当自治会も呼応して、4 月に『新鷹の台第一自治会ふるさと祭り実行委員会』を 17 名のメンバーをもって設立し、開催の為に準備にとり掛かりました。

実行委員会責任者の大役に副会長の第 6 班小嶋さんに就いていただきました。

開催に当たっては、自治会役員、イベント委員、新人を含めたボランティアの総勢 55 名の方々が、ご来場の会員の皆様に「地域住民相互の融和とコミュニケーションを図る場」として“楽しんで、良い思い出を作って貰う”為に、祭りを提供する係員自身が“辛い作業の中でも、楽しんで”を合言葉に開催中ももとより、21 日の最後の後片付けまで見事に行っていました。

模擬店の成果はフーズ部 275,441 円・グッズ部 191,250 円、計 466,691 円（前年比 107%）と両部門共に伸びて、汗を流した成果が見事に現れています。

おかげ様で、所期の目的は達成されました。ご参加いただきましたスタッフの皆様に改めてここで、紙面を通じて心より厚く御礼を申し上げます。

まだ、皆様のごところに喧騒としたお祭りの賑わいや、子ども太鼓連『紅スズメ』の響きや、花火の大音響の余韻が残っていると事と思います。

終わりに、この平和の「祭り」が末永く継続される事を願い、無事終了することが出来ましたことを会員の皆様に厚く御礼申し上げ、併せて各位の一層のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、御礼のご挨拶とさせていただきます。 以上